



## 二十歳を迎えて(意見発表)

皆さんは自分が大人になったと実感した瞬間はいつですか？

私たちは18歳で法の下では成人と認められ、2年前にすでに「大人」として扱われるようになりました。しかし、当時高校生だった私たちにとっては成人を迎えたことによって大人になった実感が湧かなかった人がほとんどで、20歳が成人というイメージが未だに根強いのではないでしょうか。実際私は20歳を迎え、劇的に自分が変わったとは思いませんが今までよりも「責任」を強く感じるようになり、大人になった一面は見られるようになったと感じます。

そう感じたきっかけとなったのは、大学の先生が講義中におっしゃった「私たちは患者さんやアスリートの人生の片棒を担いでいる。」という言葉からでした。

私は今柔道整復師とトレーニング指導者のダブルライセンス取得を目指し、日々勉強や研究に励んでいます。その中で私自身、最善を尽くしながら本気で勉強に打ち込んでいたつもりでいました。しかし「人生の片棒を担ぐ」つもりで取り組んできたという自信はなく、勉強の先の患者さんやアスリートの姿は見えていませんでした。講義の中ではさらに「患者やアスリートのベストに応えられなければそこで一人の人の人生が変わるという責任を持ち続けなさい」ともお話をいただきました。

私は2年後の3月に控える国家試験に合格したら、選択を間違えられない責任が当たり前にそこにあり、常に誰かの人生を左右し得る日々を送るという責任感が足りなかったと実感しました。それと同時に、医療従事者に関わらず周りにいるたくさんの人が同じように責任を持っていることにも気が付きました。それから夢を叶えることだけでなく、それに伴う責任も意識するようになり、辛い、やめたい、苦しい、そう思った瞬間からのあと一歩を踏み出すこと、何かひとつ今日挑戦することできるようになり、ほんの少しですが大人になったと感じました。

さて、私はこんな些細なことから自分が大人になったと実感しました。皆さんは今、それぞれの進路を歩んでいることだと思います。その中で、私のように必ず自分の大人になった一面があるはずです。この二十歳のつどいを機に、一緒に考えてみませんか。あなたが大人になったと実感した瞬間はいつですか？

令和8年1月11日  
若月 志織

